

令和4年度 日進市教育委員会 基本方針と目標【図書館】(案)

◆基本方針

「誰もが知る自由が保障され、いつでも利用できる図書館」「いつでも生活する上で必要な情報が得られる図書館」として、幼児から高齢者まで、誰もが本を読んで楽しみ、生活の知恵を得て、身体の健康と共に心の豊かさを育み、親しみやすい「生活の中に開かれた図書館」を目指す。

特に、子どもたち自身が読書習慣を身につけ、広い知識と豊かな情操を得て健全に育つよう「第2次日進市子ども読書活動推進計画」を遂行する。

◆重点施策の主な事業と実施予定

重点施策1 自ら学び、課題解決する力の育成と小中学校の教育環境整備

事業名	事業内容	令和4年度主な実施予定
学校と図書館との連携	市内全ての小中学校図書室及び市立図書館をひとつに繋ぐネットワークを整備するため、双方が連携できる図書館システムの構築を目指します。また、各学校間及び市立図書館との間の配本・レファレンス・相互貸借等のサービスをこのネットワーク全体で利用できるよう整備します。	学校配本コンテナ便について、単元に合わせた資料の整理を行うとともに利用頻度や回数を調査、研究することにより必要とする学校に必要な資料を届けることができるよう努めます。また、連携システム構築のための連絡協議を引き続き行ってまいります。

◆基本施策の主な事業と実施予定

基本施策3 生涯を通じてだれもが自由に学べる環境整備

事業名	事業内容	令和4年度主な実施予定
レファレンス・サービス事業	利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が情報そのものあるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによってこれを助けています。	バランスある蔵書構成に努めるとともに、クラウドファンディングやインセンティブ予算を活用した子ども向け外国語書籍や児童図書の充実、地域資料などの多様な図書資料等の収集を行います。 図書館員のレファレンス知識の習得と技術の向上に努め、職員間の迅速な情報共有に努めます。
配本事業	福祉社会館・保育園や学校、または民間を含む各施設への配本・回収を行います。	福祉社会館・保育園等へ配本・回収を行うとともに、民間施設や私立保育園等の新たな配本拠点拡大に向けて検討を行います
図書ネットワーク事業	府内他部署との連携を進めるとともに、広域ネットワークの推進のため、近隣図書館、小中学校、高校、大学、企業等との連携を行います。 また、図書館ボランティアの参加促進を行い、継続性のあるボランティア活動の推進を行います。	図書館連携による健康支援事業「めりーらいん」の推進及び近隣図書館との情報交換により周辺地域の最新情報を取り入れ、自館の運営に反映させます。 教職員や小中学校と連携し、図書館見学や職場体験のオンライン開催や出張開催など新たな啓発方法も含め実施してまいります。 図書館との連携を強化するためボランティア交流会を開催するとともに、図書館まつりの運営をボランティア団体と共にに行うよう努めます。 自主財源の確保のため、企業等を対象に雑誌スポンサー制度の周知を図り、協賛企業を増やします